



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 加賀電子株式会社

コード番号 8154 URL <http://www.taxan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 門 良一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 川村 英治

TEL 03-5657-0111

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	56,849	△1.4	842	139.9	1,023	96.8	451	723.0
26年3月期第1四半期	57,675	16.1	351	—	520	—	54	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 270百万円 (△59.1%) 26年3月期第1四半期 661百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	15.99	—
26年3月期第1四半期	1.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	116,733	52,719	45.1
26年3月期	126,028	52,825	41.9

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 52,675百万円 26年3月期 52,786百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当 5円00銭(新本社ビル竣工記念配当)

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	115,000	△5.8	1,200	△45.3	1,500	△38.5	600	△55.7	21.23
通期	260,000	0.8	5,300	3.8	6,000	2.6	4,000	3.2	141.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年7月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	28,702,118 株	26年3月期	28,702,118 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	445,076 株	26年3月期	445,002 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	28,257,098 株	26年3月期1Q	28,258,153 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動により一時的な個人消費の落ち込みが見られたものの、企業業績の改善を背景に設備投資や雇用情勢が向上するなど、緩やかな回復基調で推移しました。

エレクトロニクス業界におきましては、民生電子機器の需要は引き続き厳しい状況が続きましたが、タブレット端末市場や車載市場は引き続き需要が拡大し、環境・エネルギー市場やメディカル・ヘルスケア市場の成長に加え、Windows XPの買い替え需要によりパソコン市場も回復を見せるなど堅調に推移しました。

このような環境の中で、当社グループは、グループ全体の連携を強化し、既存大手顧客への拡販や新商材の開拓に加え海外拠点の拡充などに努める一方、経費削減に努めてまいりました。

その結果、第1四半期連結累計期間における売上高は56,849百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は842百万円（前年同四半期比139.9%増）、経常利益は1,023百万円（前年同四半期比96.8%増）となり、また、四半期純利益は451百万円（前年同四半期比723.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMS<sup>(注)</sup>などの開発・製造・販売など）

電子部品事業は、国内ではアミューズメント機器向け電子部品・半導体およびEMSなどの需要低迷や取扱製品の一部に商流変更があり売上高は減少しました。一方、海外における電子機器向け電子部品・半導体およびEMSが好調に推移した結果、売上高は44,004百万円（前年同四半期比2.2%減）、セグメント利益は893百万円（前年同四半期比111.1%増）となりました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

## ②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

情報機器事業は、Windows XPの買い替え需要によりコンシューマ向けパソコンなどの需要が増加し、また、住宅向け関連商材や教育機関向けのパソコン・ソフトウェアなどの販売が好調に推移いたしました。その結果、売上高は9,812百万円（前年同四半期比10.3%増）、セグメント損失は26百万円（前年同四半期はセグメント損失17百万円）となりました。

## ③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

ソフトウェア事業は、アニメーションのCG制作やアミューズメント機器用画像処理システムの販売に注力いたしました。その結果、売上高は268百万円（前年同四半期比62.9%減）、セグメント損失は21百万円（前年同四半期はセグメント損失121百万円）となりました。

## ④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポートやスポーツ用品の販売など）

その他事業は、国内のアミューズメント施設向けゲーム機器の製造および販売やゴルフ用品販売事業が低調に推移いたしました。その結果、売上高は2,763百万円（前年同四半期比9.4%減）、セグメント損失は36百万円（前年同四半期はセグメント利益63百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は116,733百万円（前連結会計年度末比9,294百万円の減少）となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債につきましては、64,014百万円（前連結会計年度末比9,188百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の減少によるものであります。

純資産につきましては、52,719百万円（前連結会計年度末比106百万円の減少）となりました。これは配当金の支払いなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ①平成27年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	115,000	600	900	400	14.16
今回修正予想（B）	115,000	1,200	1,500	600	21.23
増減額（B）－（A）	－	600	600	200	－
増減率（％）	－	100.0	66.7	50.0	－
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	122,077	2,194	2,437	1,352	47.88

## ②業績予想の理由

海外における電子部品・半導体およびEMSビジネスの取引が好調に推移したことに加え、グループ全体の経費削減効果により、平成27年3月期第2四半期の連結業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、依然として先行き不透明な状況が続いておりますので、前回公表の予想値を据え置いております。今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## （退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金が188百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,192	15,685
受取手形及び売掛金	60,667	49,820
有価証券	114	125
商品及び製品	16,378	16,937
仕掛品	848	1,290
原材料及び貯蔵品	3,991	4,308
繰延税金資産	993	966
その他	5,836	4,812
貸倒引当金	△93	△85
流動資産合計	102,930	93,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,737	5,618
機械装置及び運搬具(純額)	1,711	1,768
工具、器具及び備品(純額)	1,004	842
土地	4,038	4,038
建設仮勘定	133	6
有形固定資産合計	12,625	12,274
無形固定資産		
のれん	715	679
ソフトウェア	486	492
その他	332	277
無形固定資産合計	1,533	1,449
投資その他の資産		
投資有価証券	5,377	5,521
繰延税金資産	562	529
その他	4,015	4,022
貸倒引当金	△1,017	△928
投資その他の資産合計	8,938	9,146
固定資産合計	23,098	22,870
資産合計	126,028	116,733

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,695	36,032
短期借入金	12,172	10,951
未払法人税等	1,525	625
その他	8,016	7,043
流動負債合計	63,410	54,653
固定負債		
長期借入金	4,681	4,324
役員退職慰労引当金	1,437	1,433
退職給付に係る負債	1,954	1,649
その他	1,719	1,954
固定負債合計	9,792	9,360
負債合計	73,202	64,014
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,912
利益剰余金	27,414	27,489
自己株式	△536	△536
株主資本合計	52,923	52,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161	203
繰延ヘッジ損益	0	△5
為替換算調整勘定	5	△232
退職給付に係る調整累計額	△304	△288
その他の包括利益累計額合計	△137	△323
少数株主持分	39	43
純資産合計	52,825	52,719
負債純資産合計	126,028	116,733

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	57,675	56,849
売上原価	50,619	49,579
売上総利益	7,056	7,269
販売費及び一般管理費	6,704	6,426
営業利益	351	842
営業外収益		
受取利息	18	41
受取配当金	50	58
受取手数料	33	77
その他	135	147
営業外収益合計	237	325
営業外費用		
支払利息	32	29
為替差損	—	91
投資事業組合運用損	21	—
その他	15	24
営業外費用合計	69	145
経常利益	520	1,023
特別利益		
固定資産売却益	1	7
特別利益合計	1	7
特別損失		
固定資産除却損	1	3
投資有価証券評価損	73	163
事務所移転費用	—	4
その他	1	—
特別損失合計	76	171
税金等調整前四半期純利益	445	859
法人税、住民税及び事業税	286	269
法人税等調整額	101	134
法人税等合計	388	403
少数株主損益調整前四半期純利益	57	455
少数株主利益	2	3
四半期純利益	54	451
少数株主利益	2	3
少数株主損益調整前四半期純利益	57	455



(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	42
繰延ヘッジ損益	5	△6
為替換算調整勘定	476	△238
退職給付に係る調整額	—	16
その他の包括利益合計	603	△185
四半期包括利益	661	270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	660	266
少数株主に係る四半期包括利益	0	4

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,007	8,893	723	3,050	57,675	—	57,675
セグメント間の内部 売上高又は振替高	329	136	362	700	1,528	△1,528	—
計	45,337	9,030	1,085	3,751	59,204	△1,528	57,675
セグメント利益又は 損失(△)	423	△17	△121	63	347	4	351

(注) 1.セグメント利益の調整額4百万円には、セグメント間取引消去20百万円、のれんの償却額△16百万円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	44,004	9,812	268	2,763	56,849	—	56,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	281	158	729	622	1,792	△1,792	—
計	44,286	9,971	997	3,386	58,641	△1,792	56,849
セグメント利益又は 損失(△)	893	△26	△21	△36	809	33	842

(注) 1.セグメント利益の調整額33百万円には、セグメント間取引消去33百万円が含まれております。

2.セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。